

プレジデント Family

10年後のわが子のため、さあ親の出番です！

特集

子育て新常識 ベスト100

プレジデントファミリー
2021 [春] 号

価格 1000 円

アフターコロナの「家庭教育アップデート」

子育て 新常識

ベスト 100

「探究の学び」から
「グローバル」
「オンライン学習」
まで

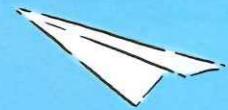


一冊で
不安解消

新時代に輝く子になる!
10賢人の知恵



15周年
特別版



アフターコロナの
「家庭教育アップデート」

子育て「新常識」 ベスト100

コロナ禍で、休校やオンライン学習など、2020年は転換点となりました。

専門家が今、考えている「子育てに一番大切なこと」を徹底取材。

「変化の激しい時代、どんな能力が求められるのか?」「家庭では、いったい何をしておけばいいのか?」

子育ての最新の知見をドーンと一挙掲載。読めば親の意識が変わります。

気になる子育ての悩みが解消!
新時代に輝く子になる!
10賢人の知恵

●PART1●

わが子に必要なものは
何なのか

高濱正伸

齋藤 孝

山極壽一

●PART2●

親がすべきこと、
やってはいけないこと

池谷裕二

工藤勇一

大崎麻子

●PART3●

世界で
活躍するために
どう付き合えばいいの?

小林りん
ウスピ・サコ

●PART4●

新しい教育と
どう付き合えばいいの?

川上量生
竹内 薫

早川世詩男=イラストレーション

23

22



生きる力
の賢人

高濱 正伸

花まる学習会代表

日記で「自分の芯」を見つけよう

今、世の中がものすごいスピードで変化しています。昨年、日本を代表する大企業のトヨタがアメリカのテスラに時価総額で抜かれました。テスラは今でこそ大きな会社ですが、2003年にできたベンチャーエンターテインメント企業です。一昔前は、大企業がベンチャー企業に時価総額で負けるなんてことは考えられなかつたはずで

そんな時代を生き抜き、メシが食つていける大人に育てるには何が必要なのか。自分の好きなこと、やりたいを見つけて没頭する時間を持つ。これが欠かせないでしょう。

『好き』という気持ちは生きるエネ

ルギーです。私は3浪4留で大学を出て「花まる学習会」を立ち上げました。約30年続けてこられたのは、芸術、読書、哲学……といったさまざまな経験を通して『音楽』か『子供』だったら一生楽しんで生きていく」という結論を出したうえで、「幼児教育でいく」と決めたから。何よりも子供たちと過ごす時間は本当に楽しくて、61歳になつた今も、授業をしているときが一番幸せ。「子供、最高!」って生きてきた結果、今に至ります。

ところが周りを見ると、何が好きなのかわからない大人だらけ。「転職したいけれど、やりたいことがわ

からない。どうしたらいいか」と他人に聞いている人や、「みんながいと言ふから」とブランド品に飛びつく人。「自分」という芯がありません。それではこの変化の時代を生きるのに弱いと思うのです。幼児のころは誰もが自分の内なる関心だけで行動します。あれが欲しいと思つたら手を伸ばして、あつちに行きたいと思つたら走つていく。それが小学校4年生ぐらいになると、「人目」「評価」という外の価値を気にするようになります。

なぜ自分の関心を見失つてしまうのか。それは親をはじめ周りから「○しなさい」と言わせ続けているか

日記の中では正直になれる

自分の芯を持つには、自分の心を理解することが第一歩です。たとえば、本でもアニメでも、みんな「あそこが最高だよね」と言つてゐるけれど、「いや、僕はあつちの場面が好き」という感想を持つたつていい。みんなとは違つても、そういう小さなことも含めて自分の思いを大事にしてほしい。

そのためには、日記を書くのがおすすめです。私は11歳から毎日書いています。誰かに見せるものではないので、自分の気持ちを正直に書くことができます。中学校では優等生で我慢をしていた部分もありますが、日記では恥ずかしいことやくだらないこともそのまま書いて正直になれました。自分の心と向き合うち、自分は何が好きなのか、何をしたいのか、おのずと見えてくるはずです。

もつとも、せつかく子供が夢中になれるものを見つけて、「そんなことより勉強しなさい」と親が止めてしまつては元も子もありません。子供のやりたいことを押しとどめ、有名大学に進み大企業に就職することを望むのは、いわばひと昔前の子育てです。これからの時代は子供の漢字のような基礎学力は大切です。それがないと上に積み上げていけません。翻せば、その基礎学力さえ身についていればいい。その先の力

も、社会に出たら甘くありません。野球に打ち込んでいた子が全員、プロの選手になれるわけではありません。それでも自分の好きなことを知っていることは生き抜く原動力になります。好きなことに関連した仕事に興味を持つたり、そこに打ち込む中で身についた力を活かしたりして、幸せいきられるでしょう。

1959年熊本県人吉市生まれ。東京大学農学部卒、同大学院修士課程修了。1993年に学習塾・花まる学習会を設立。会員数は2万人超。佐賀県武雄市で官民一体型学校「武雄花まる学園」の運営に関わる。『考える力がつく 算数脳パズルなぞべー』(草思社)など著書多数。



上島寿子=構成 市来朋久=撮影



好きなこと、やりたいことは、どんな子にも必ずあると思します。親にできることとしては、子供が没頭できる何かを見つけるチャンスを与えることでしょう。スポーツでも音楽でも本人が興味を持つことは、やらせてみるといいでしょう。

習い事では体験教室を開いているところが多いので、参加しやすいと思います。夢中になることは習い事でなくても、なんでもいい。公園で遊ぶことに夢中で、「ご飯よ」という声さえ耳に入らないぐらいとか、絵を描くのが好きでずーっと描いているとか。

せっかく夢中になっているのに、親の価値観を押し付けて水を差さないようにしましょう。たとえば野球を始めたものの試合ではいつも補欠。親の欲目で見ても才能はなさそうだと思つても、本人が夢中になつていいならそれでいい。チームメートや、上手な子から学ぶこともあるし、ランナーコーチを任せられて視野を広げる機会もあるかもしれない。続けていれば、体は鍛えられるし、チームワークだって学べる。子供の目が輝いているか、そこさえ見ていればいいのです。

中学生や高校生で自分の好きなことがわからない、という場合は、

好きなことが見つからない子は、どうしたらいいですか？

これまで、与えられた課題をこなすことが多い人生を送ってきたからかもしれません。でも気が付いたときから変えられます。

親御さんも同じです。好きなことを見つけて自分の人生を生きている

と、気持ちも安定しますし、その姿を見ている家族にもいい影響があるでしょう。

将来、結婚して子育てをするとき、不安を抱えているパートナーに「なんで暗いんだよ？」と冷たく言つてしまふような大人になつてほしくないですよね。仕事でも仲間の気持ちがわからず行動すると、どんなではプロのゲーマーも出てきていますし、「eスポーツで億を稼いだ」なんて話も耳にします。ゲームでメシを食える時代になつてきているのは確かですが、私自身、ゲームばかりすることには否定的です。

ゲームには中毒性があり、何時間も画面と向き合つても飽きることがないよう作られています。一人でゲームのバーチャルな世界

に奪われている時代です。子供がゲームばかりに夢中になつている場合は、デジタル機器から離れて「SNSなどのさまざまなツールと同じことが言えます。人の心と時間はSNSなどのさまざまなものに奪われている時代です。子供時代こそ目の前の人と話したり、何かを作ったり、ボードゲームをしたりする生の体験をする機会をたくさんつくってほしいです。

答え

いろいろな経験をする機会をつくって。ただしゲームには注意を

ハキがなく、しゃべるのが苦手で困っています

質問

ハキがないというのは、「花まる学習会」を立ち上げた30年前から問題視してきた大きなテーマです。立ち上げた当時、塾講師時代に教えていた学生に表情が乏しく、猫背でぼそぼそと小声で話す人が多いことに驚き、これではいけないと強烈に思いました。

きちんと相手の目を見て大きな声で話す、挨拶をするといったことは基本で、読み・書き・計算といつことと同様に大事なことだと思つています。その子の個性だからと放つておくのではなく、小学生のうちに習慣として身につけさせたほうがいいでしょう。

ハキがない理由は、まず自分に自信がないことがあると思います。もう一つ、経験が少ないだけ、というのもあるので、家族の前で発表したり、議論をしたりする機会を日常的に設けて、発信することに慣れるのも必要です。

加えて、大きな声を出すことも必要かもしれません。たとえば、海や山の中など、大声を出していい場所で、思い切り言いたいことを叫んでみる。日常ではおなから声を出す

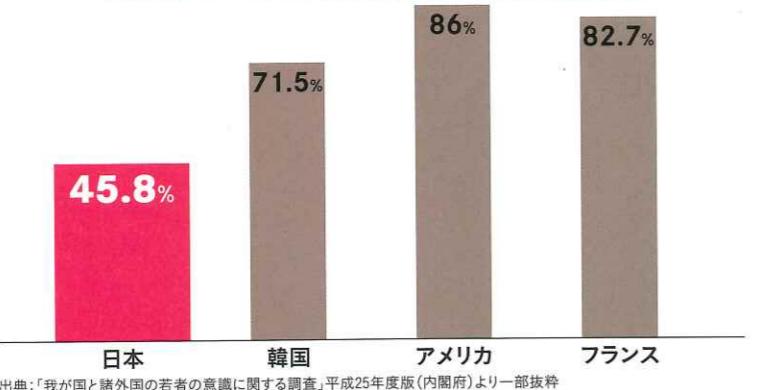
機会はあまりありません。動物の本能をすぐるのか、大声を出すのは実際に気持ちのいいものです。高校や大学の応援団を見てわかるように、声を張り上げるときは自然に背中が反り返つて、顔も上を向きます。

大きな声を出す気持ちは良さに気づけば、日常の会話でも学校で発表するときも、自然に声が大きくなるのではないかでしょうか。

剣道がおすすめな理由

日本の子は自信がない

「私は、自分自身に満足している」の問い合わせ、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した割合



出典:「我が国と諸外国の若者の意識に関する調査」平成25年度版(内閣府)より一部抜粋

五感をめいっぱい使う外遊びもおすすめです。屋外では意識しなくても声が大きくなりますし、体を動かすので、姿勢も良くなります。

家族でキャンプに繰り出すのもい

答え

大きな声で話す、発言癖、をつけよう。武道はおすすめ

いですね。しかし、あまりアウトドアが好きではないとか、連れて行く時間がないといった家庭もあるでしょう。その場合は、花まる学習会のサマースクールなど子供向けのものもあります。

F

私は高校の3年間、野球に明け暮れていますが、練習中も試合中も声を出していないと怒られました。声を張り上げる訓練のおかげで、「高浜の声は球場外まで聞こえる」と監督に言われたほどです。

空手や柔道、弓道といった武道もおすすめです。特にいいのは、剣道。技を仕掛けるときに「めーん！」

「どう！」と声を出しますし、気合

を入れるために声を発しますね。

とりわけ強豪校の声は大きくて、強

さの秘密は声にあるんじゃないかな

と思えてきます。



熱中しているものがゲームでもよいのか、と聞かれることがよくあります。最近ではプロのゲーマーも出てきていますし、「eスポーツで億を稼いだ」なんて話も耳にします。ゲームでメシを食える時代になつてきているのは確かですが、私自身、ゲームばかりすることには否定的です。

ゲームには中毒性があり、何時間も画面と向き合つても飽きることがないよう作られています。一人でゲームのバーチャルな世界に奪われている時代です。子供がゲームばかりに夢中になつている場合は、デジタル機器から離れて「SNSなどのさまざまなツールと同じことが言えます。人の心と時間はSNSなどのさまざまなものに奪われている時代です。子供時代こそ目の前の人と話したり、何かを作ったり、ボードゲームをしたりする生の体験をする機会をたくさんつくってほしいです。

ばかりに接していると、人の気持ちに寄り添えなくなってしまうリスクが非常に高い。なぜなら仲間と遊びアノログ体験を積み重ねることでこそ、人の気持ちがわかるようになります。